

天文学とプラネタリウム

第127回



www.tenpla.net



高梨直紘 (東京大学)
平松正顕 (国立天文台チリ観測所)

今月のお題

星空案内人養成講座がスタート



六本木天文クラブで、星空案内人養成講座を始めました！

天プラの活動をまとめた論文をサイトに掲載中

六本木天文クラブ主催の星空案内人資格認定講座がこの秋、スタートしました。本誌読者の皆さんならご存じの方も多いと思いますが、星空案内人とは「星のソムリエ」の名称で知られる資格。星空案内人資格認定制度運営機構が定めた所定の要件を満たした人に認められる資格で、この制度の下で全国各地で案内人養成のための講座が行われ、多くの人が星空案内人あるいは準案内人として巣立っていています。私たちも、その輪に加わることになりました。

これまで天プラでは、他団体の主催する講座の運営に協力したり、講座を修了した皆さんに活動に協力していただいたりしてきましたのですが、自ら講座を運営することはしていませんでした。私たちの活動の中心である東京では、すでにいくつかの講座が実施されていたことと、講座を開講できる拠点を持ち合わせていなかったことに加え、天プラの主要なターゲットである“より一般の人たち”には少しハードルが高くないかと考えていたためです。

しかし、状況は変わりました。2009年からは活動を始めた六本木天文クラブでは、六本木ヒルズを舞台に天体観望会や天文セミナーの開催を行ってきましたが、そこでの活動を通じて“そろそろもうちょっと詳しいことも学んでみたいかも”という層が生まれつつあることを実感し始めたのです。天プラとしては、この状況を放っておくわけにはいきません。今はお客さんとして六本木天文クラブに遊びに来て下さっている方々でも、これからは活動の輪を広げていくパートナーとして、多くの星空案内人を輩出していきたい。そのように考え、講座を開講することにしたのでした。

67名の1期生でスタート

講座がスタートしたのは9月2日のこと。つい先日です。第1期は先着順で受講申し込みを受け付けたのですが、3日間で定員が埋まるほどの反響をいただきました。総勢67名の受講生が第1期生として参加していますが(2クラス平行で行っているため、1クラスの定員はその半分です)、全体の印象としては働き盛り



講座の様子。座学と実技の組み合わせで講座は進んでいきます。

の年代で、かつ、女性が多く受講しているようです。参加している方々のモチベーションもさまざま、星のソムリエの先輩である泉水朋寛さんや、国立天文台の内藤誠一郎さんの(結構ハードな)講義を熱心に受講されています。第2期開講についても現在検討中ですが、六本木天文クラブの活動のひとつとして定着させ、活動を広げていくきっかけにしたいと思います。